

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 修多羅小学校】

1 実践テーマ	IV・V
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：5年生（24名）、6年生（30名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科等名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ 学級活動 ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ 車いすバスケットボールドイツ代表、テコンドータイ代表チームへのビデオメッセージ作成を通して、各国の言葉や特徴を知り、世界の国々の文化を学ぶ。</p> <p>○ ビデオメッセージの交流を通して、スポーツへの関心の向上や積極的な参画につなげていく。</p> <p>○ 「ボッチャ」の体験を通して、ルールの尊重やフェアプレーの精神について学び、オリンピック・パラリンピックスポーツへの興味・関心を向上させる。</p>
5 取組内容	<p>【テコンドータイ代表チームへのメッセージ】</p> <p>本校5年生は昨年度、タイ代表のテコンドーチームとの交流やテコンドー体験を行なった。</p> <p>本年度は、昨年度交流のあったタイ代表に5年生全員でビデオメッセージを送った。</p> <p>また、ビデオメッセージの作成にあたり、タイの言葉や文化を調べ、応援メッセージを画用紙にまとめた。</p> <p>写真【ビデオメッセージの一部】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修多羅小学校から タイ・テコンドー代表チームへメッセージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>



【車いすバスケットボールドイツ代表チームへのメッセージ】

本校6年生は昨年度、車いすバスケットボール学校交流会をドイツ代表チームと行った。交流会では、選手へのインタビューや体験活動を行い、人間の強さや生きがい、仲間、豊かな生活等について考えることができた。

また、翌日には、チャンピオンズカップを観戦し、交流会に来てくれたドイツ代表を応援した。

本年度は、昨年度交流のあったドイツ代表に6年生全員でビデオメッセージを送った。

また、ビデオメッセージの作成にあたり、ドイツの言葉や文化を調べ、応援メッセージを画用紙にまとめた。

写真【ビデオメッセージの一部】



★どちらのチームからも、ビデオメッセージの返事をいただける予定である。

【「ボッチャ」の体験】

昨年度は、4・5・6年生の3学年で実施した。本年度はルールを簡素化し縦割りグループ（異学年少人数集団）で行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。

6 主な成果

国際理解

○ ビデオメッセージを送るにあたって、タイ語やドイツ語、それぞれの国の文化を調べた。自分たちとの共通点や違いについても考えることができた。

	<p>○ 学習を進めるにあたって、外国への興味・関心を高めることができた。</p> <p><u>継続的な交流</u></p> <p>○ 昨年度交流があった2団体と継続して交流をすることができた。児童は、昨年度の交流を振り返りながら、活動に取り組んでいた。同じ国と継続して交流ができると児童のオリンピック・パラリンピックへの関心・意欲も向上するように思える。</p> <p>○ 自分たちの送ったメッセージがどのように受け止められ、どんな返事があるのか、楽しみに学校生活を過ごすことができています。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 一昨年度から5年生は、総合的な学習の時間に「車いすバスケットボール」の学校交流会・チャンピオンズカップ観戦に取り組んでいる。継続的に行事に参加をすることで、人的つながりができ、今回ビデオメッセージの交流ができるようになった。</p>
<p>8 主な課題 等</p>	<p>○ 教育課程への位置付けについて、総合的な学習の時間を中心に、教科と関連付けながら、学校の特色ある教育として継続的に取り組む必要がある。</p> <p>○ ビデオメッセージを作成するにあたって、プライバシー保護の観点から、インターネット媒体への掲載可否等には細心の注意を払う必要がある。</p>
<p>9 来年度以降 の実施予定</p>	<p>○ 教育課程の位置付けとともに、市教委の施策を積極的に活用し、オリンピック・パラリンピック推進教育に取り組みたい。</p> <p>○ 2つの国からのビデオメッセージの返事をもとに、応援等の取組を進めていきたい。</p>